



## (84) 中国移動、携帯アプリ販売で新戦略

野村総研(上海)咨询有限公司

中国移動は8月17日、モバイル・アプリケーション・ストア「Mobile Market (MM)」を開設した。世界的に見ても新しい中国移動の取り組みがどのように発展していくのか、目が離せない。

### ◇端末メーカー問わず、アプリ提供

MMは広東移動と卓望科技によって共同開発され、中国移動データ部が運営を担当している。コンテンツプロバイダー(CP)などは自ら開発あるいはライセンスを受けたアプリをMMの開発コミュニティにアップロードすることができ、中国移動の審査に合格すると、MMにリストアップされ、消費者がダウンロード・購入できる。



(AFP = 時事)

現在は1700種類近くが提供されており、約400がゲーム、約200がゲーム以外、約1000が画面を飾るテーマとなっている。ユーザーが閲覧、ダウンロードすることで発生する携帯電話のパケット代は無料である。

通信事業者によって提供されるストア型サービスとして、MMは世界初の取り組みとなる。アップルの「iPhone App Store」、ノキアの「Ovi Store」との最も大きな違いは、提供されるアプリが特定メーカーの端末に依存せず、シンビアン、ウィンドウズ・モバイル、リナックスなど、あらゆる携帯プラットフォームに対応していることにある。すなわち、ノキア、モトローラ、サムスン、ソニー・エリクソンなど大手メーカーのユーザーがそれぞれ自分の端末に対応するアプリを探すこと

ができるのである。端末メーカーにかかわらず、中国移動の契約者なら同じサイトでソフトを探せるという便利さだけでなく、さまざまな技術を持つソフト開発者たちに多くの機会を与える舞台となる。

### ◇個人開発者にも門戸

多くは無料で提供される一方、一部の有料アプリでは、中国移動と開発者が収益をシェアする。価格は中国移動が一定の範囲を規定し、開発者が最終的に決定する。その上で、開発者7、中国移動3の割合で、売り上げを分け合うことになる。

個人開発者はこれまで、中国移動のプラットフォームである「移動夢網」に直接はアプリを提供

できず、第三者のサービスプロバイダー(SP)などのルートを通じてのみ、自分の作品を提供することができた。中国移動は今回、ハードルを下げ、個人が提出できるようにした。開発者のアカウント登録および作品のアップロードは一切無料となっており、コスト負担が軽く、個人が参加しやすい環境となっている。個人が多く参加することで、個性的なデジタル作品が増加し、同時に就業と創業の機会の増加につながる事が期待されている。

第3世代時代に入った中国の携帯電話市場において、サービスの充実は今後の競争上、重要なポイントとなる。MMのサービスは始まったばかりであり、例えば、より良いアプリを数多く提供できるよう、いかにして開発者を引き付けるのか、ノキアなど端末メーカーといかに競争していくのかなど、さまざまな課題をまだ有している。とはいえ、中国移動は5億を超えた既存契約者に対し、CP、SP、個人開発者と共に、端末メーカーを超えたアプリ提供を実現しようとしている。これは中国移動が長期的に競争力を備え、発展していく上で重要な戦略である。

(コンサルタント・周睿)

世界の主なアプリケーションストア

	Mobile Market	iPhone App Store	Android Market	Ovi Store	Windows Marketplace	BlackBerry App World
業者	中国移動	Apple	Google	Nokia	Microsoft	RIM
OS	複数	iPhone	Android	Symbian	Windows Mobile	BlackBerry
プログラミング言語	複数	Objective-C	Java	C++	.net	Java
アプリケーション数	1700	65000	5000	1000	2000	1000
利益分配	3:7	3:7	3:7	3:7	3:7	2:8
開発者のコスト	なし	99ドル/年	なし	50ドル	99ドル/年	10アプリごとに200ドル